

く・ら・そ



「く・ら・そ」はこれから北海道で定住先を探す方を応援するニュースレターです。

北海道への移住を支援する活動を始めて9年目の NPO 法人 北海道ふるさと回帰支援センターが、北海道への定住を希望する方々への情報提供として発行します。平成 28 年度年賀寄付金配分事業（東日本大震災被災者支援）



「避難」から「定住」を考えると、今くらししている地域に暮らし続けたい方もいれば、違う地域への転居を考える方もおられると思います。この広い北海道で「これから、どこに住まい、どんなくらしを築いていくか？」を考えるときの参考に、本紙では道内 6 振興局（石狩、空知、後志、上川、日高、胆振を予定）から約 40 市町村の情報のほか、次号からは「移住者インタビュー」「地域おこし協力隊情報（求人情報等）」をお届けします。

ごあいさつ ～北海道へ、定住のお手伝い～

NPO 法人 北海道ふるさと回帰支援センター

理事長 佐藤 隆

東日本大震災をきっかけに北海道へ避難されたみなさんのなかには、これからのことを考え悩み、5年が経過した今、ひとつの選択肢として北海道への定住を考えはじめた方がいらっしゃると思います。定住先を決めるために必要な条件（地域、すまい、仕事、環境など）は、個々人の状況に応じて様々でしょう。そこで、今、くらししている市町村以外にも視野を広げ、北海道内への定住の参考となる情報をお伝えするため、今年度 10 回にわたり、ニュースレター「く・ら・そ」を発行します。

このニュースレターをお読みの皆さんは、北海道に何年かお住まいの方がほとんどでしょうから、「く・ら・そ」では、北海道の一般情報ではなく、自治体の具体的な情報「住宅」「学校」「子育て環境」などを、「くらし」を営む地域選びの参考としてお知らせしていきます。

また、実際に移住者がくらすいくつかの市町村を、希望される 2、3 家族のみなさんと一緒に訪ねるツアーを 5 回程度企画しています。

一回目は 6 月 18 日（土）、石狩市厚田区で、地域おこし協力隊から魚の移動販売屋さんとなった「魚やくまさん二代目」の小島拓也さんを訪問し、移住経験者としてのお話をざっくばらんに伺います。6 月 15 日（水）には、訪問前の事前説明会を日中と夜の 2 回行いますので、興味のある方はお問い合わせください。尚、くわしいお知らせは、当団体 Facebook、協力団体：北海道 NPO 被災者支援ネットの HP、Facebook などでお伝えします。（お問い合わせは、北海道 NPO 被災者支援ネットまで。※問合せ先は裏面に記載）

地域おこし協力隊情報～はじめに～

「地域おこし協力隊って、仕事なの？」

▶これからお伝えしていくこと

定住先を探す際に、何が決め手になるのでしょうか？もちろん、一人ひとりの置かれている状況で違うのですが、「住まい」と「仕事」は重要なキーワードとして挙げられます。さらにどんな家なのか、仕事の内容と収入は？…これらは基本中の基本でどなたにも関心のあるところでしょう。

「く・ら・そ」では、「地域おこし協力隊」を、「住まい」や「仕事」といった定住にむけたハードルを越えるための最適なツールと考え、次号より道内各地の「地域おこし協力隊」の募集情報などをお伝えしていきます。

▶地域おこし協力隊は《総務省の制度》です

地域おこし協力隊とは、都市圏の人を地方に人材として受け入れ、都市圏で培った経験・アイデアなどを活用し、地域おこしや定住化を図る総務省の制度です。給与が支払われ、住宅提供されるところがほとんどです。1 年単位で 3 年間までの契約更新で、3 年後にはこの制度を離れ、地域に定住することを目指します。

2009 年にスタートし 2015 年度は全国で 2,625 人、北海道では 105 自治体 369 名の方が参加しています。活動内容（仕事の内容）は各自自治体が設定し、様々な業種におよんでいます。観光振興、就農、特産品開発、環境保全、高齢者支援などなど。年齢制限、雇用関係や給与も各自自治体で異なります。次号より、これらの

協力隊に係わり定住に結びつく情報を掲載いたします。



◀北海道地域おこし協力隊
ポータルサイト



くらべてみよう、北海道のまち ～石狩振興局編～

	市営・町営住宅	公共料金※1	学校数	子育て支援	子ども医療費助成※	高齢者支援
石狩市	定期募集なし 空き住宅が出たときに 広報に掲載	上水 2,283 円 下水 2,531 円 国保 80,000～ 85,000 円	小 13 中 8 高 2	保育料のめやす※2 11,600 円 高校生への奨学金給付	通院・入院・指定訪問看護 小学校就学前迄 入院 中学校3年生迄	みつけて君サービス 江別・石狩地域認知症見守り SOS ネットワーク 福祉利用割引券の交付
当別町	定期募集なし 空き状況等は随時窓口 に確認 当別町管理住宅係 ☎0133-23-3197	上水 2,840 円 下水 2,916 円 国保 90,000～ 95,000 円	小 2 中 2 高 1	保育料のめやす※2 14,000 円	通院・入院・指定訪問看護 小学校就学前迄 入院・指定訪問看護 小学校6年生迄	当別町 SOS ネットワーク
江別市	定期募集は年3回、募集 物件があるときのみ。一 部先着入居の団地あり (あけぼの団地)。	上水 1,533 円 下水 2,300 円 国保 80,000～ 85,000 円	小 18 中 9 高 5	保育料のめやす※2 6,000 円	通院・入院・指定訪問看護 小学校就学前迄 入院・指定訪問看護 小学校6年生迄	徘徊高齢者の 位置検索サービス 江別・石狩地域認知症見守り SOS ネットワーク
北広島市	定期募集なし 空き住宅がでたときに 広報やHPに掲載	上水 2,430 円 下水 2,397 円 国保 75,000～ 80,000 円	小 8 中 6 高 3	妊婦健診を受診する際の 通院費用の一部を助成 保育料のめやす※2 10,600 円 高校生への奨学金給付	通院・入院・指定訪問看護 小学校6年生迄 入院・指定訪問看護 中学校3年生迄	認知症高齢者等 SOS ネットワーク いどころ発信 システム助成

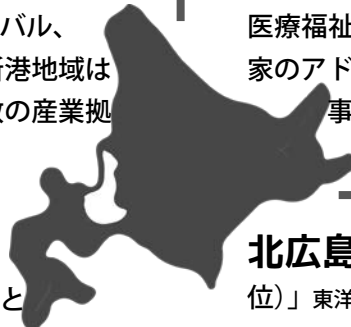
※1 北海道HP「北海道内の市町村の財政状況」(平成27年3月31日現在)より。上水は一箇月当り10㎡使用した場合
下水は一箇月当り20㎡使用した場合、国民健康保険は被保険者一人当たりの平均年額。
※2 例として、市町村税均等割のみの世帯の3歳児の保育にかかる費用を記載しています。参考：札幌市は8,800円
※3 子ども医療費助成は、子どもの年齢等によって所得制限の有無あり(詳しくは各市町村窓口でご確認ください)

石狩市 「札幌に隣接し、便利さと自然が共存するまち」札幌駅から石狩市役所までは車で約30分、札幌主要駅と接続するバスも多くアクセスに便利。石狩管内で唯一海に面しており、新鮮な魚介類が取れるだけでなく、農産物も豊富で食に恵まれている。朝市やライジングサン・ロックフェスティバル、三大秋祭りなどイベントも多い。石狩湾新港地域は600社を超える企業が操業する全国有数の産業拠点で、運輸業、製造業などの求人がある。

当別町 「明治4年、仙台藩岩出山の領主・伊達邦直公が家臣共々移住し開拓した町」車やJRで40分程で札幌中心部に行ける自然豊かな町。基幹産業が農業のため、旬の新鮮な農作物が手軽に入手できる。町内での求人は建設業、サービス業のほか、医療福祉関係。広い敷地が安く購入でき、近所の農家のアドバイスを得ながら家庭菜園が楽しめる。仕事は札幌や石狩、住まいは当別、という暮らし方をされている方も。

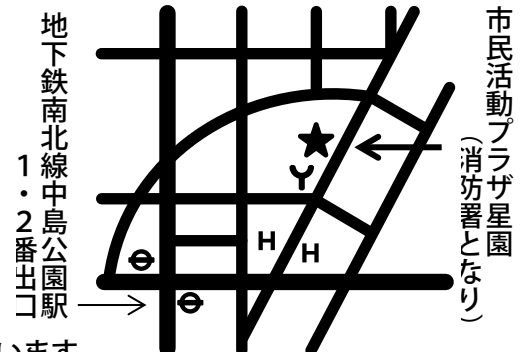
江別市 「みんなでつくる未来のまち」JRで札幌の中心部まで約20分の利便性と「野幌森林公園」など自然豊かな環境を兼ね備えたまち。4つの大学と1つの短期大学があり、学生も多くくらす。酪農、農業のほか、国内屈指の生産量を誇るれんがの製造工場がある。ベッドタウンというだけではなく、これからまちをみんなでつくっていく、という動きがある。市内での求人は医療福祉、サービス業、製造業などがある。

北広島市 「2年連続住みよさ第一位(道内の順位)」東洋経済新報社都市データパック2015年版より。「安心度」「利便度」「快適度」「裕福度」「住居水準充実度」の5つのカテゴリーのうち、〈利便度・快適度・住居水準充実度〉において特に高い順位となる。JR北広島駅から札幌駅まで快速電車で約16分、新千歳空港まで約20分とアクセスもよく、自然と都市の利便性が調和。工業団地もあり空港や苫小牧港も近いことから、運輸業、製造業、技術職の求人がある。



発行 特定非営利活動法人 北海道ふるさと回帰支援センター
住所 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74
市民活動プラザ星園 405号室
電話 011-211-0261 FAX 011-211-0271
HP <http://www.furusato-kaiki.jp/>

協力 北海道NPO被災者支援ネット
電話 011-552-5900 携帯 090-0323-5900
E-mail kitanpo@gmail.com HP <http://www.npohotweb.com/>



「く・ら・そ」は「平成28年度年賀寄付金配分事業」の一環として発行しています。